学校番号	３１２

令和２年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新編　社会と情報（東京書籍）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

情報社会が進展していく中で、社会の仕組みや人と人との関わり方が大きく変わってきた今、自然との調和、社会への参画、人とのつながり、個人のあり方が重要視されています。この授業では、社会との関わりの中で、情報や情報技術に関する事柄を理解し、社会のモラルに反することなく実践することを通じて、豊かな情報社会の創造を実現できる学力を身につけることを期待します。

２　学習の到達目標

・情報及び情報技術を活用するための知識と技能を習得する。
・情報に関する科学的な見方や考え方を培う。
・社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解する。
・社会の情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を身に付ける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報や情報社会に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習作品 レポート、発表 相互評価･自己評価等	学習状況の観察 ワークシートの記述 レポート、発表 定期考査の結果 相互評価･自己評価等	学習状況の観察 課題作品 発表 実技テストの結果等	学習状況の観察 ワークシートの記述 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	情報社会の課題を考える	○情報と情報社会 ・個人の責任 ・情報社会の問題 ・個人情報とその保護 ○メディアとその特徴 ・メディアリテラシー	○ ○	○ ○	 ○	○ ○	a:情報社会の諸問題について興味をもち、学習に積極的に取り組もうとしている。 b:社会のシステムがどのように変貌するのかを創造的に思考できる。 c:情報に適したメディアを選択できる。 d:情報化の光と影の部分について理解している。	授業観察 ワークシート
1学期	ネットワークを探索する	○コミュニケーション ・電子メール ○ネットワーク ・プロトコル ・インターネットの仕組み ・Web ページの閲覧とメールの仕組み ・インターネットを利用したサービス ○情報の共有化と合意形成	○ ○ ○	○ ○	○ ○	 ○	a:ネットワークの仕組みに関心をもち、正しく活用しようとしている。 b:ネットワークの仕組みについて調べた結果をわかりやすく整理し、違いについて考察できる。 c:工夫して複雑な検索を行える。 d:クライアントとサーバの関係を理解している。	授業観察 ワークシート
2学期	情報社会の課題を考える	○安全対策 ・個人、組織による安全対策 ○安全のための情報技術 ・暗号化 ・法規による安全対策 ○知的財産権の概要と産業財産権 ・著作権とその利用	○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a:ウイルス対策などの情報セキュリティに対して関心を持っている。 b:著作権などの侵害事例について、どの権利を侵害しているか適切に判断できる。 c:適切なパスワードを設定できる。 d:著作権の様々な権利を理解している。	授業観察 ワークシート
2学期	情報を表現する	○ディジタル情報の特徴 ・静止画像の扱い ・数値や文字の表し方 ・音のディジタル化 ・色のディジタル表現 ・画像のディジタル化 ○圧縮 ・仕組みと種類 ○さまざまな計算	○ ○ ○	 ○	○ ○	○ ○ 	a:ディジタル化の仕組みに興味をもち、学習に積極的に取り組もうとしている。 b:ディジタル化することの利点や問題点について考えることができる。 c:情報機器を用いて情報をディジタル化することができる。 d:コンピュータ内部での情報の表し方や処理の仕組みを理解している。	授業観察 ワークシート

3学期	情報で暮らしが変わる	○問題を解決するには ・情報の収集 ・情報の整理と管理 ・分析のための工夫 ・関数と統計 ・表とグラフの活用 ・分析の実際 ・問題解決の実践 ○プレゼンテーションの方法 ○Webページによる情報発信	○ ○ ○	○ ○	 ○ ○	○ ○	a:問題解決の方法と手段について関心をもち、問題解決に取り組もうとしている。 b:問題解決のための様々な方法を考え、目的に応じて、適切な解決方法を選択することができる。 c:問題解決のための、様々な技法を使うことができ、目的に応じて適切な方法を活用できる。 d:問題の明確化、情報の収集、情報の整理・分析、解決案の検討などの問題解決の一連の流れを理解している。	授業観察 ワークシート 課題作品

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。